

12/8
(日)

み言葉に寄り頼む力

ヨハネの黙示録三章7〜13節

見よ、私はあなたの前に門を開けておいた。誰もこれを閉じ
ることはできない。あなたは力の弱い者であるが、私の言葉
を守り、私の名を否まなかったからである。(8)

「あなたは力の弱い者であるが」とあるように、フィラデルフィアの教会は大
きくはなく、信徒の数も少なかったようです。それでも、彼らはキリストへの信
仰を守り通しました。教会の価値は、建物の立派さや集まる人の数によって測ら
れるものではありません。信仰者たちがキリストの言葉にいかん忠実に生きてい
るかが問われます。その点、この教会は「私の言葉を守り、私の名を否まなかつ
た」と称賛されています。主によってその弱さを指摘されただけでなく、自分た
ちでも、自らの無力さを十分にわきまえていました。それだからこそ、主イエス
の言葉なしに生きることが出来なかったのです。人は自分の力を過信し、神なし
でもやっていけると考えて、み言葉に寄り頼むことをやめてしまいます。けれど
も私たちは、自らの弱さや小ささのゆえに神に寄り頼もうではありませんか。